

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和2年度～令和4年度）
研究開発課題名	炎症性疾患の新規創薬ターゲットの同定
代表機関名	国立大学法人大阪大学
研究開発代表者名	鈴木 一博

総合評価：優れている

【評価コメント】

各主の炎症・免疫系疾患モデルを用いて COMMD3/8 複合体の役割・機能の検証、セラストロールの効果の検証や COMMD3/8 複合体との結合様式の解明など、確実な成績に基づいて標的の妥当性と治療薬の可能性を立証した点を高く評価する。また、セラストロールのオフターゲットの影響も確認しており、新規標的としての期待が持たれる。

今後、ヒト病態との関連性検討を含め、臨床効果の予見性を高める検討をさらに進めていただきたい。

以上